

表－1 評価項目及び配点(標準Ver.)

H28. 4. 1現在

項目	施工体制確認型								
	施工能力評価型				技術提案評価型				
	I型(標準)、II型				S型(非WTO)				S型 (WTO) (資料7)
	Aランク以外 (I型:資料1) (II型:資料2)		Aランク (I型:資料3) (II型:資料4)		Aランク以外 (資料5)		Aランク (資料6)		
	作業船 対象	作業船 非対象	作業船 対象	作業船 非対象	作業船 対象	作業船 非対象	作業船 対象	作業船 非対象	
<b>施工計画、技術提案</b>	<b>I型:可/不可 II型:－</b>				<b>(30点) 40点</b>				<b>50点</b>
<b>企業の能力等</b>	<b>16点</b>	<b>16点</b>	<b>20点</b>	<b>20点</b>	<b>8点</b>	<b>8点</b>	<b>10点</b>	<b>10点</b>	
同種工事実績	4.0	4.0	6.0	6.0	1.0	2.0	2.0	2.0	
請負工事成績評定点	6.0	6.0	8.0	8.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
工事成績評定優秀企業認定	0.5	1.0	0.5	1.0	－	－	0.5	1.0	
優良工事表彰	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	
優良工事における下請負者表彰	0.5	1.0	0.5	1.0	－	－	0.5	1.0	
安全管理優良受注者表彰	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
作業船評価	2.0	－	2.0	－	2.0	－	2.0	－	
新技術等に対する取り組み	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
<b>技術者の能力等</b>	<b>16点</b>	<b>16点</b>	<b>20点</b>	<b>20点</b>	<b>8点</b>	<b>8点</b>	<b>10点</b>	<b>10点</b>	
若手技術者の配置	<3.0>	<3.0>	－	－	－	－	<3.0>	<3.0>	
同種工事実績	6.0	6.0	8.0	8.0	3.0	3.0	4.0	4.0	
請負工事成績評定点	6.0	6.0	8.0	8.0	3.0	3.0	4.0	4.0	
優良建設技術者表彰	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
CPD、専門性の高い資格又は登録海上起重基幹技能者から選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
<b>地域精通度・地域貢献度</b>	<b>8点</b>	<b>8点</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>4点</b>	<b>4点</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	
本店の有無	3.0	3.0	－	－	1.0	1.0	－	－	
災害時における活動実績	4.0	4.0	－	－	2.0	2.0	－	－	
作業船の保有状況	1.0	1.0	－	－	1.0	1.0	－	－	
<b>加算点合計</b>	<b>40点</b>				<b>(50点) 60点</b>				<b>50点</b>
ヒアリング	実施しない								
施工体制評価点	30点								
基礎点	100点								

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2)表中< >書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

①施工能力評価型I型(標準)及びII型で「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合、技術者の能力等の配点は、満点が19点であるが、加算点の付与は16点を上

②技術提案評価型S型(標準)で「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合、技術者の能力等の配点は、満点が13点であるが、加算点の付与は10点を上限とする。

※3)下記は別途設定する。

①施工能力評価型のI型(チャレンジ型・施工計画重視型)。

②技術提案評価型のS型(チャレンジ型)。

③施工体制確認型対象外。

表-2 評価項目及び配点(別途設定Ver.)

項目	非施工体制確認型		施工体制確認型										
	施工能力評価型						技術提案評価型					特定専門 工事 審査型	
	II型		I型				S型(非WTO)						
	Aランク以外 (資料8)		施工計画重視型		チャレンジ型				地元企業活用審査型		地域精進度評価型		
			Aランク以外 (資料9)		Aランク以外 (資料10)	Aランク (資料11)	Aランク以外 (資料12)		Aランク (資料13)	Aランク (資料14)			Aランク (資料15)
作業船 対象	作業船 非対象	作業船 対象	作業船 非対象						作業船 対象	作業船 非対象	作業船 対象	作業船 非対象	
<b>施工計画、技術提案</b>	-		20点		30点		(30点) 40点		(30点) 40点		(30点) 40点		20点
<b>企業の能力等</b>	12点	12点	8点	8点	4点	5点	4点	5点	9点	9点	10点	10点	10点
同種工事実績	3.0	5.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
請負工事成績評定点	6.0	6.0	1.0	1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
工事成績評定優秀企業認定	-	-	0.5	1.0	-	-	-	-	-	1.0	0.5	1.0	0.5
優良工事表彰	-	-	1.0	2.0	-	-	-	-	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0
優良工事における下請負者表彰	-	-	0.5	1.0	-	-	-	-	-	-	0.5	1.0	0.5
安全管理優良受注者表彰	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
作業船評価	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	2.0	-	2.0
新技術等に対する取り組み	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
<b>技術者の能力等</b>	12点	12点	8点	8点	4点	5点	4点	5点	9点	9点	10点	10点	10点
若手技術者の配置	-	-	-	-	-	-	-	-	<3.0>	<3.0>	<3.0>	<3.0>	-
同種工事実績	6.0	6.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0
請負工事成績評定点	6.0	6.0	3.0	3.0	1.0	2.0	1.0	2.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
北陸地方整備局管内における工事実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-
優良建設技術者表彰	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
CPD、専門性の高い資格又は登録海上起重基幹技能者から選択	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
<b>地域精進度・地域貢献度</b>	6点	6点	4点	4点	2点	-	2点	-	-	-	-	-	-
本店の有無	2.0	2.0	1.0	1.0	0.5	-	0.5	-	-	-	-	-	-
災害時における活動実績	3.0	3.0	2.0	2.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-
作業船の保有状況	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	-	0.5	-	-	-	-	-	-
<b>地元企業の活用状況</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	2点	2点	-	-	-
<b>特定専門工事の施工計画</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10点
<b>加算点合計</b>	30点		40点		40点		(40点) 50点		(50点) 60点		(50点) 60点		50点
ヒアリング	実施しない												
施工体制評価点	-		30点										
基礎点	100点												

※1) 表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2) 表中< >書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

・技術提案評価型S型(地元企業活用審査型)で「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合、技術者の能力等の配点は、満点が12点であるが、加算点の付与は9点を上限とする。

・技術提案評価型S型(地域精進度評価型)で「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合、技術者の能力等の配点は、満点が13点であるが、加算点の付与は10点を上限とする。

## 施工能力評価型（I型、Aランク以外対象、施工体制確認型）

単位：点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	4	4	4	4	
		同種性の高い工事の実績あり	2		2		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局（港湾空港関係、参加要件の工程区分）の平均請負工事成績評定点	80点以上	6	6	6	6	
		78点以上80点未満	5		5		
		76点以上78点未満	4		4		
		74点以上76点未満	3		3		
		72点以上74点未満	2		2		
		70点以上72点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
65点未満	-5	-5					
③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局（港湾空港関係）の各表彰	工事成績評定優秀企業認定（1ヶ年）	認定あり	0.5	3	1	5	
	優良工事表彰（参加要件の工程区分）（2ヶ年）	局長表彰あり	1		2		
		事務所長表彰あり	0.5		1		
	優良工事における下請負者表彰（2ヶ年）	表彰あり	0.5		1		
安全管理優良受注者表彰（2ヶ年）	表彰あり	1	1				
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	—	—	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		—		
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		—		
作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	—	—		
	下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		—			
	環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		—			
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR-VEを含む)A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥若手技術者の配置	NETIS登録「-V(-VR-VEを含む)A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり 40歳未満の主任（監理）技術者に加え、経験豊富な技術者を配置	<3>	<3>	<3>	<3>	
		上記以外	<0>	<0>	<0>	<0>	
	⑦過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	4	6	4	6
			同種性の高い工事の実績あり	2		2	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
	立場	監理（主任）技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	2	2			
		担当技術者として従事	0	0			
	⑧過去5ヶ年度の全地方整備局（港湾空港関係、参加要件の工程区分）の平均請負工事成績評定点（監理（主任）技術者、現場代理人又は専任補助者に限る）	80点以上	6	6	6	6	
		78点以上80点未満	5		5		
76点以上78点未満		4	4				
74点以上76点未満		3	3				
72点以上74点未満		2	2				
70点以上72点未満		1	1				
70点未満又は実績なし		0	0				
⑨過去4ヶ年度における北陸地方整備局（港湾空港関係）の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局（港湾空港関係）の優良工事表彰を受けた工事の監理（主任）技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	3	3	3	3		
	事務所長表彰あり	2		2			
⑩過去1ヶ年度における継続教育（CPD）の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合：20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合：資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合：有資格者の配置	1	1	1	1	
⑪地域精通度		当該県内（地域内）に本店あり	3	3	3	3	
⑫過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	4	4	4	4	
		協定締結しているが活動なし	3		3		
⑬作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	1	1	1	1	
⑭施工計画		適切に記載されている	可	不可の場合	可	不可の場合	
		不適切である	不可		不可		
ヒアリング	⑮監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		×0.75		
上記以外	×0.0	×0.0					
	⑯施工計画	説明が適切である	可	可	可	可	
		説明が不適切である	不可		不可		
合 計			40		40		

■加算点＝（①＋②＋③＋④＋⑤）＋（&lt;⑥&gt;＋⑦）×⑮＋⑧＋⑨＋⑩＋⑪＋⑫＋⑬

※ 表中&lt;&gt;書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

なお、技術者の能力等の配点は、満点が19点であるが、加算点の付与は16点を上限とする。

## 施工能力評価型(Ⅱ型、Aランク以外対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	4	4	4	4	
		同種性の高い工事の実績あり	2		2		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	80点以上	6	6	6	6	
		78点以上80点未満	5		5		
		76点以上78点未満	4		4		
		74点以上76点未満	3		3		
		72点以上74点未満	2		2		
		70点以上72点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
65点未満	-5	-5					
③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	1	5	
	優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2		
		事務所長表彰あり	0.5		1		
	優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	0.5		1		
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	1	1				
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	—	—	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		—		
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		—		
	作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	—	—	
下請を予定している作業船が環境基準を満足している		0.5	—				
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥若手技術者の配置		40歳未満の主任(監理)技術者に加え、経験豊富な技術者を配置	<3>	<3>	<3>	<3>
			上記以外	<0>	<0>	<0>	<0>
	⑦過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	4	6	4	6
			同種性の高い工事の実績あり	2		2	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
		立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	2	6	2	6
			担当技術者として従事	0		0	
			80点以上	6		6	
	78点以上80点未満	5	5				
	76点以上78点未満	4	4				
74点以上76点未満	3	3					
72点以上74点未満	2	2					
70点以上72点未満	1	1					
70点未満又は実績なし	0	0					
⑨過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない		局長表彰あり	3	3	3	3	
		事務所長表彰あり	2		2		
⑩過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑪地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	3	3	3	3	
⑫過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	4	4	4	4	
		協定締結しているが活動なし	3		3		
⑬作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	1	1	1	1	
合計			40		40		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+<⑥>+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬

※表中<>書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

なお、技術者の能力等の配点は、満点が19点であるが、加算点の付与は16点を上限とする。

## 施工能力評価型 (I型、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業 の 能力 等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	6	6	6	6	
		同種性の高い工事の実績あり	3		3		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	80点以上	8	8	8	8	
		78点以上80点未満	6		6		
		76点以上78点未満	5		5		
		74点以上76点未満	4		4		
		72点以上74点未満	3		3		
		70点以上72点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし 65点未満	0 -5		0 -5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	1	5
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2	
			事務所長表彰あり	0.5		1	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	0.5		1	
	安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	1	1			
④作業船評価 ※主たる工種で設定		作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	—	—	
			持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5	—		
	持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし		0	—			
作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	—	—		
	下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		—			
	環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		—			
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術 者 の 能力 等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	6	8	6	8
		立場	同種性の高い工事の実績あり	3		3	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	80点以上	8	8	8	8	
		78点以上80点未満	6		6		
		76点以上78点未満	5		5		
		74点以上76点未満	4		4		
		72点以上74点未満	3		3		
		70点以上72点未満	1		1		
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	3	3	3	3		
	事務所長表彰あり	2		2			
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑩地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	—	—	—	—	
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり 協定締結しているが活動なし	— —	— —	— —	— —	
⑫作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	—	—	—	—	
⑬施工計画		適切に記載されている	可	不可の場合失格	可	不可の場合失格	
		不適切である	不可		不可		
ヒアリング	⑭監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		×0.75		
		上記以外	×0.0		×0.0		
	⑮施工計画	説明が適切である	可		可		
説明が不適切である		不可	不可				
合 計			40		40		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥×⑭+⑦+⑧+⑨)+⑩+⑪+⑫

施工能力評価型(Ⅱ型、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業 の 能力 等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	6	6	6	6	
		同種性の高い工事の実績あり	3		3		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	80点以上	8	8	8	8	
		78点以上80点未満	6		6		
		76点以上78点未満	5		5		
		74点以上76点未満	4		4		
		72点以上74点未満	3		3		
		70点以上72点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
	65点未満	-5	-5				
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	1	5
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2	
			事務所長表彰あり	0.5		1	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	0.5		1	
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	—	—	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		—		
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		—		
	作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	—	—	
下請を予定している作業船が環境基準を満足している		0.5	—				
環境基準を満足していない又は証明書の提出なし		0	—				
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術 者 の 能力 等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	6	8	6	8
			同種性の高い工事の実績あり	3		3	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
		立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	2		2	
			担当技術者として従事	0		0	
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	80点以上	8	8	8	8	
		78点以上80点未満	6		6		
		76点以上78点未満	5		5		
		74点以上76点未満	4		4		
		72点以上74点未満	3		3		
		70点以上72点未満	1		1		
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	3	3	3	3		
	事務所長表彰あり	2		2			
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑩地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	-	-	-	-	
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	-	-	-	-	
		協定締結しているが活動なし	-	-	-	-	
⑫作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	-	-	-	-	
合 計			40		40		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥+⑦+⑧+⑨)+⑩+⑪+⑫

技術提案評価型(S型、非WTO、Aランク以外対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	1		2		
		同種性の高い工事の実績あり	0.5	1	1	2	
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2		2		
		70点以上75点未満	1	2	1	2	
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
		65点未満	-5		-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-		
		優良工事表彰(参加要件の工程区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	事務所長表彰あり	0.5	2	1	3
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)		表彰あり	-		-		
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1		-		
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5	1	-	-	
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		-		
	作業船の環境基準	環境基準を満足している	1		-		
		下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5	1	-	-	
		環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		-		
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	2		2	
			同種性の高い工事の実績あり	1		1	
			同種性が認められる工事の実績あり	0	3	0	3
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	3		3		
		70点以上75点未満	1.5	3	1.5	3	
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	1		1			
	事務所長表彰あり	0.5	1	0.5	1		
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑩地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	1	1	1	1	
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	2		2		
		協定締結しているが活動なし	1	2	1	2	
⑫作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	1	1	1	1	
⑬技術提案(2テーマ(又は1テーマ)について、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 【1テーマ】15点×3提案×1テーマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2テーマ】15点×3提案×2テーマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1テーマ当たり2提案の記述を求める場合※3 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1 <sup>※2</sup>	(30) 40	15~1 <sup>※2</sup>	(30) 40	
		標準的な内容である等	0		0		
		工事の品質確保が図れない等	-5		-5		
ヒアリング	⑭監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		×0.75		
		上記以外	×0.0		×0.0		
	⑮技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	×1.0		×1.0		
		提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75		×0.75		
		上記以外	×0.0		×0.0		
合計			60(50)	60(50)			

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥×⑭+⑦+⑧+⑨)+⑩+⑪+⑫+(⑬×⑮)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2)1提案当りの評価

※3)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。

## 技術提案評価型(S型、非WTO、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2	2	2	
		70点以上75点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
		65点未満	-5		-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	1	5
		優良工事表彰(参加要件の工程区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2	
			事務所長表彰あり	0.5		1	
優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)		表彰あり	0.5	1			
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	1	1				
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	-	-	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		-		
	持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0	-				
作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	-	-		
	下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		-			
	環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		-			
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥若手技術者の配置	40歳未満の主任(監理)技術者に加え、経験豊富な技術者を配置	<3>	<3>	<3>	<3>	
		上記以外	<0>	<0>	<0>	<0>	
	⑦過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	3	4	3	4
			同種性の高い工事の実績あり	2		2	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
	立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	1			
		担当技術者として従事	0	0			
	⑧過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	4	4	4	4	
		70点以上75点未満	2		2		
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑨過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	1	1	1	1		
	事務所長表彰あり	0.5		0.5			
⑩過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑪地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	-	-	-	-	
⑫過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	-	-	-	-	
		協定締結しているが活動なし	-	-	-	-	
⑬作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	-	-	-	-	
⑭技術提案(2テーマ(又は1テーマ)について、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 【1テーマ】15点×3提案×1テーマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2テーマ】15点×3提案×2テーマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1テーマ当たり2提案の記述を求める場合※4 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40	
		標準的な内容である等	0	0			
		工事の品質確保が図れない等	-5	-5			
ヒアリング	⑮監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		×0.75		
		上記以外	×0.0		×0.0		
	⑯技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	×1.0		×1.0		
		提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75		×0.75		
		上記以外	×0.0		×0.0		
合計			60(50)	60(50)			

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥)>⑦×⑬+⑧+⑨+⑩+⑪+(⑫×⑭)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2)表中< >書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

なお、技術者の能力等の配点は、満点が13点であるが、加算点の付与は10点を上限とする。

※3)1提案当りの評価

※4)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。



## 技術提案評価型(S型、WTO、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点	
①技術提案(2テーマについて、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 25点×3提案×2テーマ=150点、50点に換算(少数2位四捨五入)		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	25~1 <sup>※</sup>	50
		標準的な内容である等	0	
		工事の品質確保が図れない等	-5	
②ヒアリング	技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	×1.0	実施しない
		提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75	
		上記以外	×0.0	
合 計			50	

■加算点=①×②

※1提案当りの評価

施工能力評価型(Ⅱ型、Aランク以外対象、非施工体制確認型(予定価格1,000万円未満))

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	3	3	5	5	
		同種性の高い工事の実績あり	1.5		3		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	80点以上	6	6	6	6	
		78点以上80点未満	5		5		
		76点以上78点未満	4		4		
		74点以上76点未満	3		3		
		72点以上74点未満	2		2		
		70点以上72点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
	65点未満	-5	-5				
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-	-	
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	-	-	-	
			事務所長表彰あり	-	-	-	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-	-	-	
	安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)		表彰あり	-	-	-	
	④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	-	-
			持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		-	
			持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		-	
作業船の環境基準		環境基準を満足している	1	1	-	-	
		下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		-		
		環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		-		
⑤新技術等に対する取り組み	NETIS登録「-V.A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1		
技術者の能力等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	4	6	4	6
			同種性の高い工事の実績あり	2		2	
		立場	同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事		2	2			
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	80点以上	6	6	6	6	
		78点以上80点未満	5		5		
		76点以上78点未満	4		4		
		74点以上76点未満	3		3		
		72点以上74点未満	2		2		
		70点以上72点未満	1		1		
		70点未満又は実績なし	0		0		
	⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	-	-	-	-	
		事務所長表彰あり	-	-	-	-	
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択	CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	-	-	-	-		
⑩地域精通度	当該県内(地域内)に本店あり	2	2	2	2		
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績	活動あり	3	3	3	3		
	協定締結しているが活動なし	2		2			
⑫作業船の保有状況	災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	1	1	1	1		
合計			30		30		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥+⑦+⑧+⑨)+⑩+⑪+⑫

施工能力評価型 (I型: 施工計画重視型、Aランク以外対象、施工体制確認型)

単位: 点

評価項目		評価項目	配点			
			作業船評価対象	作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	1	1	1	
		同種性の高い工事の実績あり	0.5	0.5	0.5	
		同種性が認められる工事の実績あり	0	0	0	
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	1	1	1	
		65点以上75点未満又は実績なし	0	0	0	
		65点未満	-5	-5	-5	
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	1	0.5
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1	2	1
			事務所長表彰あり	0.5	1	0.5
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	0.5	1	0.5
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	1	1	1		
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	—	—	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5	—	—	
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0	—	—	
	作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	—	—	
		下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5	—	—	
環境基準を満足していない又は証明書の提出なし		0	—	—		
⑤新技術等に対する取り組み	NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1		
技術者の能力等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	2
			同種性の高い工事の実績あり	1	1	1
			同種性が認められる工事の実績あり	0	0	0
		立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	1	1
			担当技術者として従事	0	0	0
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	3	3	3	
		70点以上75点未満	1.5	1.5	1.5	
		70点未満又は実績なし	0	0	0	
	⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	1	1	1	
		事務所長表彰あり	0.5	0.5	0.5	
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択	CPDの場合: 20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合: 資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合: 有資格者の配置	1	1	1		
⑩地域精通度	当該県内(地域内)に本店あり	1	1	1		
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績	活動あり	2	2	2		
	協定締結しているが活動なし	1	1	1		
⑫作業船の保有状況	災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	1	1	1		
⑬施工計画(2項目について記述を求める。10×2=20点)		現場特性等が整理され、それに十分対応して、具体的に適切に記載されている	10	10	10	
		現場特性等が整理され、それに対応して、適切に記載されている	6	6	6	
		適切に記載されている	3	3	3	
		共通仕様書等と同じ内容である	0	0	0	
		不適切である	不可	不可	不可	
ヒアリング	⑭監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	×1.0	×1.0	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75	×0.75	×0.75	
		上記以外	×0.0	×0.0	×0.0	
	⑮施工計画	説明が適切である	可	可	可	
		説明が不適切である	不可	不可	不可	
合計			40	40	40	

■加算点 = (①+②+③+④+⑤) + (⑥×⑭+⑦+⑧+⑨) + ⑩+⑪+⑫+⑬

## 施工能力評価型(Ⅰ型:チャレンジ型、Aランク以外対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	1	1	
		65点以上75点未満又は実績なし	0		
		65点未満	-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	-	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	事務所長表彰あり	-	
		安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-	
④新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR-VEを含む).A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	
技術者の能力等	⑤過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	1	2
			同種性の高い工事の実績あり	0.5	
			同種性が認められる工事の実績あり	0	
		立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	
		担当技術者として従事	0		
	⑥過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	1	1	
		70点以上75点未満	0.5		
		70点未満又は実績なし	0		
⑦過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加点しない	局長表彰あり	-	-		
	事務所長表彰あり	-			
⑧過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	
⑨地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	0.5	0.5	
⑩過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	1	1	
		協定締結しているが活動なし	0.5		
⑪作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	0.5	0.5	
⑫施工計画(2項目について記述を求める。15×2=30点)		現場特性等が整理され、それに十分対応して、具体的に適切に記載されている	15	30	
		現場特性等が整理され、それに対応して、適切に記載されている	10		
		適切に記載されている	5		
		共通仕様書等と同じ内容である	0		
		不適切である	不可		
ヒアリング	⑬監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		
		上記以外	×0.0		
	⑭施工計画	説明が適切である	可		
		説明が不適切である	不可		
合計			40		

$$\blacksquare \text{加算点} = (\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④}) + (\text{⑤} \times \text{⑬} + \text{⑥} + \text{⑦} + \text{⑧}) + \text{⑨} + \text{⑩} + \text{⑪} + \text{⑫}$$

## 施工能力評価型(Ⅰ型:チャレンジ型、非WTO、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点		
企業の 能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2	
		70点以上75点未満	1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		
65点未満		-5			
③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-	
	優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	-		
		事務所長表彰あり	-		
	優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-		
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-			
④新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	
技術者の 能力等	⑤過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	1	2
		立場	同種性の高い工事の実績あり	0.5	
			同種性が認められる工事の実績あり	0	
			監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	
	⑥過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	2	2	
		70点以上75点未満	1		
		70点未満又は実績なし	0		
		⑦過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり		-
事務所長表彰あり	-				
⑧過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	
⑨地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	-	-	
⑩過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	-	-	
⑪作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	-	-	
⑫施工計画(2項目について記述を求める。15×2=30点)		現場特性等が整理され、それに十分対応して、具体的に適切に記載されている	15	30	
		現場特性等が整理され、それに対応して、適切に記載されている	10		
		適切に記載されている	5		
		共通仕様書等と同じ内容である	0		
		不適切である	不可		
ヒアリング	⑬監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		
		上記以外	×0.0		
	⑭施工計画	説明が適切である	可		
		説明が不適切である	不可		
合計			40		

■加算点=(①+②+③+④)+(⑤×⑬+⑥+⑦+⑧)+⑨+⑩+⑪+⑫

※)1提案当りの評価

## 技術提案評価型(S型:チャレンジ型、非WTO、Aランク以外、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	1	1	
		65点以上75点未満又は実績なし	0		
		65点未満	-5		
③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-	
	優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり 事務所長表彰あり	-		
	優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-		
	安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-		
④新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR-VEを含む).A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	
技術者の能力等	⑤過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	1	2
			同種性の高い工事の実績あり	0.5	
			同種性が認められる工事の実績あり	0	
	立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	0	
		担当技術者として従事	0		
	⑥過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	1	1	
		70点以上75点未満	0.5		
		70点未満又は実績なし	0		
⑦過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加点しない	局長表彰あり	-	-		
	事務所長表彰あり	-			
⑧過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	
⑨地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	0.5	0.5	
⑩過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	1	1	
		協定締結しているが活動なし	0.5		
⑪作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	0.5	0.5	
⑫技術提案(2ターマ(又は1ターマ)について、1ターマ当たり3提案の記述を求める。) 【1ターマ】15点×3提案×1ターマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2ターマ】15点×3提案×2ターマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1ターマ当たり2提案の記述を求める場合※3 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1※2	(30) 40	
		標準的な内容である等	0		
		工事の品質確保が図れない等	-5		
ヒアリング	⑬監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		
		上記以外	×0.0		
	⑭技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	×1.0		
提案を理解している(懇談会は×0.5)		×0.75			
上記以外		×0.0			
合計			50(40)		

■加算点=(①+②+③+④)+(⑤×⑬+⑥+⑦+⑧)+⑨+⑩+⑪+(⑫×⑭)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1ターマの場合。

※2)1提案当りの評価

※3)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。

## 技術提案評価型(S型:チャレンジ型、非WTO、Aランク、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2	
		70点以上75点未満	1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		
		65点未満	-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	-
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	-	
			事務所長表彰あり	-	
優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)		表彰あり	-		
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり	-			
④新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	
技術者の能力等	⑤過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	1	2
			同種性の高い工事の実績あり	0.5	
			同種性が認められる工事の実績あり	0	
	立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	0	
		担当技術者として従事	0		
	⑥過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	2	2	
		70点以上75点未満	1		
		75点未満又は実績なし	0		
	⑦過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	-	-	
		事務所長表彰あり	-		
⑧過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	
⑨地域精通度		当該県内(地域内)に本店あり	-	-	
⑩過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績		活動あり	-	-	
		協定締結しているが活動なし	-	-	
⑪作業船の保有状況		災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	-	-	
⑫技術提案(2ターマ(又は1ターマ)について、1ターマ当たり3提案の記述を求める。) 【1ターマ】15点×3提案×1ターマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2ターマ】15点×3提案×2ターマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1ターマ当たり2提案の記述を求める場合※3 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1※2	(30) 40	
		標準的な内容である等	0		
		工事の品質確保が図れない等	-5		
ヒアリング	⑬監理能力	十分な監理能力が確認できる	×1.0	実施しない	
		一定の監理能力が期待できる	×0.75		
		上記以外	×0.0		
	⑭技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	×1.0		
		提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75		
		上記以外	×0.0		
合計			50(40)		

■加算点=(①+②+③+④)+(⑤×⑬+⑥+⑦+⑧)+⑨+⑩+⑪+(⑫×⑭)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1ターマの場合。

※2)1提案当りの評価

※3)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。

## 技術提案評価型(S型:地元企業活用審査型、非WTO、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2	2	2	
		70点以上75点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
		65点未満	-5		-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	-	1	4	
		優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1	2		
			事務所長表彰あり	0.5	1		
優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)		表彰あり	-	-			
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	-	-	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		-		
		持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		-		
作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	-	-		
	下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		-			
	環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		-			
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥若手技術者の配置	40歳未満の主任(監理)技術者に加え、経験豊富な技術者を配置	<3>	<3>	<3>	<3>	
		上記以外	<0>	<0>	<0>	<0>	
	⑦過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	2	3	2	3
			同種性の高い工事の実績あり	1		1	
			同種性が認められる工事の実績あり	0		0	
	立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	1			
		担当技術者として従事	0	0			
	⑧過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	4	4	4	4	
		70点以上75点未満	2		2		
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑨過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	1	1	1	1		
	事務所長表彰あり	0.5		0.5			
⑩過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑪地元企業活用率	90%以上	2	2	2	2		
	70%以上90%未満	1		1			
	70%未満	0		0			
⑫技術提案(2テーマ(又は1テーマ)について、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 【1テーマ】15点×3提案×1テーマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2テーマ】15点×3提案×2テーマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1テーマ当たり2提案の記述を求める場合※4 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点	標準案の施工方法等と比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40		
	標準的な内容である等	0		0			
	工事の品質確保が図れない等	-5		-5			
	十分な監理能力が確認できる	×1.0		×1.0			
ヒアリング	⑬監理能力	一定の監理能力が期待できる	×0.75	×0.75			
		上記以外	×0.0	×0.0			
		提案を十分に理解している	×1.0	×1.0			
	⑭技術提案に対する理解度	提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75	×0.75			
上記以外		×0.0	×0.0				
合計			60(50)	60(50)	60(50)	60(50)	

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥)>+⑦×⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+(⑭×⑮)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2)表中< >書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

なお、技術者の能力等の配点は、満点が12点であるが、加算点の付与は9点を上限とする。

※3)1提案当りの評価

※4)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。



## 技術提案評価型(S型:地域精通度評価型、非WTO、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価項目	配点				
			作業船評価対象		作業船評価非対象		
企業の能力等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2	2	2	
		同種性の高い工事の実績あり	1		1		
		同種性が認められる工事の実績あり	0		0		
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2	2	2	
		70点以上75点未満	1		1		
		65点以上70点未満又は実績なし	0		0		
		65点未満	-5		-5		
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	1	5
		優良工事表彰(参加要件の工程区分)(2ヶ年)	局長表彰あり	1		2	
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	事務所長表彰あり	0.5		1	
安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)		表彰あり	0.5	1			
④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	-	-	
		持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		-		
	持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0	-				
作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	-	-		
	下請を予定している作業船が環境基準を満足している	0.5		-			
	環境基準を満足していない又は証明書の提出なし	0		-			
⑤新技術等に対する取り組み		NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1	1	1	
技術者の能力等	⑥若手技術者の配置	40歳未満の主任(監理)技術者に加え、経験豊富な技術者を配置	<3>	<3>	<3>	<3>	
		上記以外	<0>	<0>	<0>	<0>	
	⑦過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	2	3	2	3
			同種性の高い工事の実績あり	1		1	
		同種性が認められる工事の実績あり	0	0			
	立場	監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1	1	1		
		担当技術者として従事	0	0	0		
	⑧過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工程区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	4	4	4	4	
		70点以上75点未満	2		2		
		70点未満又は実績なし	0		0		
⑨過去4ヶ年度における北陸地方整備局管内における工事実績(工事内容に応じて港湾又は海岸/空港から選択)	監理(主任)技術者又は現場代理人として3件以上の実績あり	1	1	1	1		
	監理(主任)技術者又は現場代理人として1件以上の実績あり又は担当技術者として3件以上の実績あり	0.5		0.5			
	上記以外	0		0			
⑩過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり	1	1	1	1		
	事務所長表彰あり	0.5		0.5			
⑪過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択		CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1	1	1	
⑫技術提案(2テーマ(又は1テーマ)について、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 【1テーマ】15点×3提案×1テーマ=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 【2テーマ】15点×3提案×2テーマ=90点、40点に換算(少数2位四捨五入) ◆1テーマ当たり2提案の記述を求める場合※4 配点に重みあり:30点+15点=45点、30点に換算(少数2位四捨五入) 配点に重みなし:15点×2提案=30点		標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40	15~1 <sup>※3</sup>	(30) 40	
		標準的な内容である等	0		0		
		工事の品質確保が図れない等	-5		-5		
		十分な監理能力が確認できる	×1.0		×1.0		
ヒアリング	⑬監理能力	一定の監理能力が期待できる	×0.75	実施しない	×0.75	実施しない	
		上記以外	×0.0		×0.0		
		提案を十分に理解している	×1.0		×1.0		
	提案を理解している(懇談会は×0.5)	×0.75	×0.75				
	上記以外	×0.0	×0.0				
	⑭技術提案に対する理解度						
合計			60(50)		60(50)		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+&lt;⑥&gt;+⑦×⑮+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+(⑭×⑯)

※1)表中( )書きは、技術提案の課題が1テーマの場合。

※2)表中&lt; &gt;書きは、若手技術者登用・育成対策において、「経験豊富な技術者」を活用対象とする場合。

なお、技術者の能力等の配点は、満点が12点であるが、加算点の付与は9点を上限とする。

※3)1提案当りの評価

※4)技術的工夫の余地が小さい工事で、提案数を減じる(3提案から2提案)場合。

## 特定専門工事審査型(非WTO、Aランク対象、施工体制確認型)

単位:点

評価項目		評価基準	配点			
企業 の 能力 等	①過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	より同種性の高い工事の実績あり	2	2		
		同種性の高い工事の実績あり	1			
		同種性が認められる工事の実績あり	0			
	②過去5ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点	75点以上	2	2		
		70点以上75点未満	1			
		65点以上70点未満又は実績なし	0			
	③過去〇ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の各表彰	工事成績評定優秀企業認定(1ヶ年)	認定あり	0.5	3	
			優良工事表彰(参加要件の工種区分)(2ヶ年)	局長表彰あり		1
		優良工事における下請負者表彰(2ヶ年)	事務所長表彰あり	0.5		
			安全管理優良受注者表彰(2ヶ年)	表彰あり		0.5
	④作業船評価 ※主たる工種で設定	作業船の保有	自社保有船舶又は持分比率50%以上の共同保有船舶を使用	1	1	
			持分比率20%以上50%未満の共同保有船舶を使用	0.5		
			持分比率20%未満の共同保有船舶を使用又は自社保有船舶の使用なし	0		
		作業船の環境基準	環境基準を満足している	1	1	
下請を予定している作業船が環境基準を満足している			0.5			
環境基準を満足していない又は証明書の提出なし			0			
⑤新技術等に対する取り組み	NETIS登録「-V(-VR,-VEを含む),A」技術又は港湾関連民間技術評価制度の認定技術の活用あり	1	1			
技術者 の 能力 等	⑥過去15ヶ年度以降の申請された同種工事実績	同種性	より同種性の高い工事の実績あり	3	4	
			同種性の高い工事の実績あり	2		
		立場	同種性が認められる工事の実績あり	0		
			監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者として従事	1		
	⑦過去5ヶ年度の全地方整備局(港湾空港関係、参加要件の工種区分)の平均請負工事成績評定点(監理(主任)技術者、現場代理人又は専任補助者に限る)	75点以上	4	4		
		70点以上75点未満	2			
		70点未満又は実績なし	0			
		⑧過去4ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良建設技術者表彰 または、過去2ヶ年度における北陸地方整備局(港湾空港関係)の優良工事表彰を受けた工事の監理(主任)技術者の配置 ※重複加算しない	局長表彰あり		1	1
			事務所長表彰あり		0.5	
⑨過去1ヶ年度における継続教育(CPD)の取り組み状況、専門性の高い資格活用又は登録海上起重基幹技能者から選択	CPDの場合:20単位以上の取得あり 専門性の高い資格活用の場合:資格の有無 登録海上起重基幹技能者の場合:有資格者の配置	1	1			
⑩地域精通度	当該県内(地域内)に本店あり	-	-			
⑪過去5ヶ年度以降の災害時等における活動実績	活動あり	-	-			
	協定締結しているが活動なし	-	-			
⑫作業船の保有状況	災害復旧・復興に活用できる作業船の保有あり	-	-			
⑬技術提案(1テーマについて、1テーマ当たり3提案の記述を求める。) 15点×3提案×1テーマ=45点、20点に換算(少数2位四捨五入)  評価基準は、技術提案評価型(S型)に同じ。	標準案の施工方法等に比べ、技術提案(品質向上等)の効果が十分期待できるかを、具体性、確実性等の観点から評価する。	15~1 <sup>※2</sup>	20			
	標準的な内容である等	0				
	工事の品質確保が図れない等	-5				
⑭特定専門工事の施工計画(1項目について記述を求める。)  評価基準は、施工能力評価型(I型・施工計画重視型)に同じ。	現場特性等が整理され、それに十分対応して、具体的に適切に記載されている	10	10			
	現場特性等が整理され、それに対応して、適切に記載されている	6				
	適切に記載されている	3				
	共通仕様書等と同じ内容である	0				
合 計		不適切である	失格	50		

■加算点=(①+②+③+④+⑤)+(⑥+⑦+⑧+⑨)+(⑩+⑪+⑫)+(⑬+⑭)

※1)特定専門工事審査型はAランク対象工事で行うため、競争参加申請者の地域精通度及び地域貢献度は設定しない。

※2)1提案当りの評価